

平成二十四年度事業計画案

1、教化研究会議

●第四十五回中央教化研究会議

・期日 九月上旬の予定

・会場 宗務院

・教区教研運営委員や関心のある本宗教師の出席。

・運営会議を開き、内容を協議し、企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

●地域教化研究会議の開催運営

・全十一教区での開催運営。

・中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教化の現場に関連するテーマを企画し、教化研究の充実を図る。

・教研運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、

企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

●日蓮教学の現代化。中央教研や化学研究発表大会

の成果を踏まえ、研究員を中心に教学の現代化につ

いて研究を行う。

●化学の研究。第十三回化学研究発表大会を開催

し、教化のあり方、現代教化の方策を研究する。必要

に応じて、管区単位での化学研究集会を開催する。

●教団論の研究。第二十三回法華経・日蓮聖人・日蓮

教団論研究セミナーを開催し、現代の諸問題に対応した教団のあり方について研究をすすめる。

●新宗教研究。法華系新興教団を中心に、研究を行う。

●立正平和の研究。宗門運動「立正安国・お題目結縁運動」における世界立正平和活動の問題を中心に研究する。

●教団史研究。近代日蓮教団史について、他教団との

関わりを鑑みながら研究する。年次年表の作成。

●必要な研究調査のため、研究員・顧問・嘱託で分担

してプロジェクトチームを構成する。

●研究例会。研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点

として、研究を継続し、成果を発表する。

● 現宗研ウェブサイト上の「日蓮宗教化センター」を運用する。また、諸資料のデータベース化、各種事業の公開など新たな布教伝道方法を研究する。

● 「仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会」「教団付置研究所懇話会」「日本近代仏教史研究会」等への参加。

● その他

3、調査部門

● 法華系新興教団を中心として、他教団の活動を調査する。

● 過疎地域寺院活性化検討委員会・伝道部と連携を計りつつ、過疎地域寺院の実態調査を継続し、対策を検討する。

● 必要に応じてアンケート調査・現地調査を実施する。

● その他

4、資料部門

● 日蓮宗アーカイブズ構想の具体化。宗門の公式資料の収集整理保管。

● 各教化センターとの教化研究、布教資料などの交流

を図り、収集に努める。

● 図書を購入し、コンピュータで蔵書を管理し、ウェブ上で検索できるシステムの構築につとめる。

● 視聴覚資料の購入・保管。

● 創価学会・顕正会など法華系新興教団に関する資料を収集し、保管する。

● その他各種教化資料を収集し、保管する。

● 「現代宗教研究」第四十七号の発行。

● 「平成二十三年日蓮宗年表」の発行。

● 教化シリーズの発行。

● その他

5、会議

● 教化センター連絡会議を開催し、教化センター間の交流、情報交換などを行う。

● 教区教化研究会議連絡会議を開催し、各教区の教区運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図り、一層の充実を目指す。

● 研究員会議・顧問会議・嘱託会議の開催。

● その他

編集後記

▼お待たせ致しました。「現代宗教研究」第四十六号をお届けします。

▼「中央教化研究会議」では東日本大震災の復興の象徴的役割を果たしている宮澤賢治に着目し、開催致しました。こちらに基調報告、基調講演、記念講演、分科会報告を掲載致します。

▼研究ノートは、前顧問・前嘱託二氏の原稿になり、それぞれ様々な方向からの取り組みを研究を収録しています。

▼本来、前号に掲載する予定で御座いました、野村清治氏の「自死遺族から見た自死問題について」を収録致しました。これは、平成二十二年五月二十五日に開催した「教化センター連絡会議」に於ける講演の筆録です。野村氏は、名古屋自死遺族の会「リメンバー」の代表幹事のおひとりです。自死遺族の立場と言いながら、自死問題について、すぐれて包括的、体系的、理論的に論じられています。是非、御一読下さい。

▼研究・調査プロジェクト報告は、政治と宗教、自然科

学と仏教、新宗教、寺院と危機管理に関する研究・調査報告が載っております。

▼調査報告では、長年原子力問題を研究されている梅森貫誠師のフィールドワークの成果が報告されています。

宗教者は、多角的に世の中の事象に関してアンテナを張っていくことが必要と考えられますが、正に適っている調査報告と思います。

▼教化学研究発表大会の成果は、本誌には収録せず、別冊として刊行いたします。同大会の内容は、第五回まで「教化学論集」として刊行され、第六回から第九回までは本誌に併収しておりましたが、第十回（平成二十一年度）より、「教化学研究」の名で再び別冊化しました。

▼また、八月には望月哲也顧問が遷化されました。ここに謹んで師の増道損生をお祈り申し上げます。

(T・S生)